

天安門事件「無名の反逆者」戦車男



この2枚の写真は、1989年6月4日、天安門事件の直後に、ある外国人カメラマンによって撮影されたものである。



天安門事件から30年、台湾や香港では大規模な追悼集会が開かれた。特に台湾は、言論の自由が保障されていることもあり、台北市内中心部の中正紀念堂で、戦車の前に立ちどまった学生を模したモニュメントが展示された。(上写真)

大阪府立 泉陽高等学校
73期担任団
2021年
3月2日
(火曜日)
卒業記念
臺灣特別
第拾八號



天安門事件と台湾の関係

先年 撮影者の
チャヤーリー・
コール氏が
死去したことで
話題になった
この写真

複数の男に取り
押しさえられる
(と見える)男性
に注目。学生運動
を制圧し、北京市
内から帰還した戦
車の前に立ち塞がり、その前進を阻んだ。

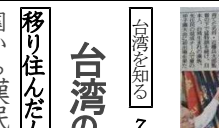
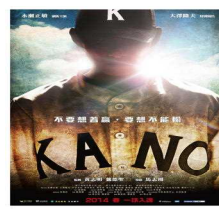


この男性が誰なのか、そしてこの後どうなったのかは、全く分かっていない。(左の写真では、当局に連行されようとしているのか、はたまたまの男性を戦車からか当局からか何とか救おうとして、戦車の前から離れさせようとしているのか？ 当時も今も不明である)

「KANO 1931 海の向こうの甲子園」は、2014年の台湾映画。かのうとは、日本統治時代の台湾の嘉義をなまき市に実在した、嘉義農林学校の略称を、日本語読みした当時の呼び名である。DVDやポスターではKANOのフリガナが「カノウ」ではなく「カノ」となっている。

海の向こうの甲子園

「修正旅行で行ったから」分かりますよね。戦車の後の景色、中正紀念堂の屋根、すよね。それにしても、門の大きさにはびっくりしましたね。日本とはそもそも感覚が違っ、それを美感しました。これも異文化に触れるってことなんですよ。台湾なんて、どこでもとつともなく広い中国を感じるそんな瞬間でした。



2014年3月7日、第9回大阪アジア映画祭 オープニング作品として台湾以外で初上映され、観客賞を受賞。台湾制作だが、舞台となった時代背景からセリフの多くは日本語であり、一部に台湾語、客家語、原住民語が使われている。日本では2015年1月24日に公開された。

先住の人たちの言語 漢民族の台湾への移住以前に台湾に住んでいたのは、オーストロネシア系の言語を話す民族であった。彼らは約6000年前に大陸東南部から海を渡って台湾にやってきたと考えられている。フリーピン・インドネシアの

「先住の人たち」 台湾原住民は、大陸からの移民が盛んになる17世紀以前から居住していた、台湾の先住民の呼称。中国語で「先住民」と表すと、「既に滅んでしまった民族」の意が生じる為、この表現を台湾では用いていない。

「先住の人たち」 台湾原住民は、大陸からの移民が盛んになる17世紀以前から居住していた、台湾の先住民の呼称。中国語で「先住民」と表すと、「既に滅んでしまった民族」の意が生じる為、この表現を台湾では用いていない。

「先住の人たちの分類(呼称)と特徴」 元々台湾に住んでいた民族の子孫達は、現在でも台湾で暮らしていて、大きく二つに分類できる。即ち、平埔族と高山族(狭義の台湾原住民)である。平埔族は西部北部に分布しており、早々から漢民族との接触、混血が進み同化が進んでしまった人々で、固有の言語文化をほぼ失っている。いわゆる台湾原住民、高山族日本統治時代、高砂族と呼ばれたは、台湾の東部または山地に住み、異民族の進入を妨げるのに長いこと成功してきた。(幾らかの通商はあった。現在でも固有の言語文化を保っている。しかしその人口は現在、台湾の人口の約2%弱(37万人)に留まっている。言語学と人類学で分類が若干異なる。

「先住の人たちの分類(呼称)と特徴」 元々台湾に住んでいた民族の子孫達は、現在でも台湾で暮らしていて、大きく二つに分類できる。即ち、平埔族と高山族(狭義の台湾原住民)である。平埔族は西部北部に分布しており、早々から漢民族との接触、混血が進み同化が進んでしまった人々で、固有の言語文化をほぼ失っている。いわゆる台湾原住民、高山族日本統治時代、高砂族と呼ばれたは、台湾の東部または山地に住み、異民族の進入を妨げるのに長いこと成功してきた。(幾らかの通商はあった。現在でも固有の言語文化を保っている。しかしその人口は現在、台湾の人口の約2%弱(37万人)に留まっている。言語学と人類学で分類が若干異なる。



この為、中国大陸への反攻を目指す蒋介石、蔣経国親子二代による台湾統治下では、外省人が優先的に登用され、台湾全人口の85%を上回る本省人が40年近くも外省人に従つ(支配される)状態が続いた。80年代以前の台湾では、外省人は軍事、公務員

この為、中国大陸への反攻を目指す蒋介石、蔣経国親子二代による台湾統治下では、外省人が優先的に登用され、台湾全人口の85%を上回る本省人が40年近くも外省人に従つ(支配される)状態が続いた。80年代以前の台湾では、外省人は軍事、公務員

この為、中国大陸への反攻を目指す蒋介石、蔣経国親子二代による台湾統治下では、外省人が優先的に登用され、台湾全人口の85%を上回る本省人が40年近くも外省人に従つ(支配される)状態が続いた。80年代以前の台湾では、外省人は軍事、公務員

この為、中国大陸への反攻を目指す蒋介石、蔣経国親子二代による台湾統治下では、外省人が優先的に登用され、台湾全人口の85%を上回る本省人が40年近くも外省人に従つ(支配される)状態が続いた。80年代以前の台湾では、外省人は軍事、公務員

この為、中国大陸への反攻を目指す蒋介石、蔣経国親子二代による台湾統治下では、外省人が優先的に登用され、台湾全人口の85%を上回る本省人が40年近くも外省人に従つ(支配される)状態が続いた。80年代以前の台湾では、外省人は軍事、公務員



教育関係者 国民大会代表 立法議員等の要職を
占め 支配層というイメージが強かった。

実際に外省人が台湾人と結婚すると、家族から反
対されるケースも少なくなかったようだ。それは、差別的な
意味合いからよりも、文化的な相違、ライフスタイルに対す
る考え方の違いによるものではないかと考えられる。

80年代以降の台湾化方針

本省人と外省人の対立
あるいは省籍矛盾はこうした不平等な政治関係の中で発
生し、その後台湾の民主化、自由化、台湾のナショナルイズム
につながった。だが、80年代後半から、国民党政府の台湾化
方針、特に本省人の政治エリートへの登用、選挙権の拡大、
本籍制度の廃止等によって、省籍の矛盾がある程度解消
されたこと見られる。

(9組) 歴史民族研究委員

台湾の政治・選挙

政治

現在の台湾は、民主主義の単一国家であり、半大
統領制議院内閣制の枠組を採りながら、より大きな権力を大
統領がもつ政治体制。議院内閣制や大統領制とも異なる制度
を採る。大統領にあたる総統が中心となり、その周辺に5つの
院行政府、立法院、司法院、考試院、監察院が置かれている。

一院制を採用している日本では、一方の院の基盤が脆弱な
政権与党の場合に政治決定の遅延がおきるが、台湾の場合、
総統の所属政党と立法院の多数派が異なった場合台におきる。
台湾では、総統が大きな権力を持っているように見えるが、
実際は立法院の支持が無ければ多くの事は実行できない。

選挙制度

立法院の選挙制度は、日本の衆議院と同
様に小選挙区比例代表並立制で行われている。比例区(13の
総定数の内34は全国単位で、5%の阻止条項により、5%
以上の得票率が無ければ、議席の配分を得られない。残り
の79議席の内、73議席は小選挙区で選出され、6議席は
原住民選挙権振り分けられている。

台湾では、国民党、民進党の二大政党への支
持率が他党を圧倒しており、大部分の小選挙区では
両党の公認候補、もしくは友党候補が争っている。

台湾の奇跡

コロナとの戦い

台湾では現在コロナの感染者はほぼ0と言われている。何
より初動が早かった。一昨年の末には、中国本土の感染状況を
いち早く正確に察知し、年明けの自らは政府が対策本部を立ち
上げ、本格的な感染封じ込めに取り組んだ。若手の優秀な

人材の登用、国民への説明の徹底、最新の情報技術を駆使して
の対応、これらが功を奏し、コロナの駆逐に成功した。国柄も
法体系も異なるゆえ、安易に比べるのは控えるとしても、私
達が住む国との違いは余りに大き過ぎる。学ぶべき点は多々。
そして、そんな見事にコロナという未知のウイルスに對峙した
その国に、私達はコロナの騒ぎが台湾に伝播するほんの一月
前に訪れていたのだ。万事慮揚見えた彼の地の人々と、緻密
であればな対応との不一致に戸惑うのは私だけだろうか。

* * * * *

はなむけの言葉

あつという間の3年間でしたね。入学
したばかりのあのどけない顔が昨日
のことのように思い出されます。充実した日々を過ごすこ
ができましたか？ 1年生の遠足で皆、練習した40人41脚。
大浜体育館で燃えたクラスマッチ。台湾修学旅行での豪華
ホテル。盛り上がった全体レク。クラスが一つになった合唱
コンクール。体育祭。文化祭。毎日タタタになるま、汗を流
したクラブ活動。そしてコロナと共に始まった3年生。不安
と期待を胸一杯に抱えて頑張り抜いた大学受験。その一瞬
一瞬を精一杯生きた皆の笑顔が、泣き顔がキラキラと思
い出されます。本当によく頑張りましたね！ 進路先に関
しては、満足している人も、複雑な思いの人もいることし
ょう。でも、これがゴールではありません。これからがスタ
ーナです。これからの学びは誰かに強制されるものでも
ありません。どれだけ自分の世界を広げることができ
るか。どれだけ深く考えられる人になれるか。それは皆さ
ん自身のこれからの学びの質と量にかかっています。そし
て、それによってその後の人生はどのようにも変わって行
きます。だから、そ、一日一日を大切に、常に自分磨きを
かけることを忘れないで下さい。若い自由な発想を、しっか
り前を向いて努力を怠らない人であって下さい。誰かに幸
せにしてもらうのではなく、自分の力で幸せになりまし
ょう。そして周りの人も幸せにしましょう。皆はこの3年間
でその力の『種』をしっかりと自分の中に植えたはずで
す。そして最後に、自分が強い立場に立った時、弱い立場の
人たちのことを思いやれる人になってくれたらと願ってや
みません。卒業おめでとう。どうぞ豊かな人生を。皆は私
の自慢の生徒たちです。



9組担任

時には身を屈めて

一二年次は担任として、三年次は授業担当として皆さ
んに関わることができました。入学時にはまだまだ幼さの
残る表情をしていた皆さんが、それぞれに将来のことを考
え始め、日に日に大人の顔付きに変わっていった73期の皆
さんを送り出せることを、とても嬉しく思います。

今年の冬は久しぶりに厳しいものになりました。豪雪と
なった日本海側とは全く違いますが、大阪でも台風並みの
強風に何度も見舞われ、風の音が怖い程でした。風の吹き方
は一定ではありません。突然強まったかと思うと何事も
なかったように静かになることもあって、その様子は風の息
と呼ばれています。山、突風に見舞われた時は、いったん身
を屈めてやり過ごし、収まるのを待つのが鉄則です。

今、世界は新型コロナウイルスという嵐の中にあります。
いろんな分野において、突風に身を屈めながらも、その対処
の道を見つけて出そうとしています。日本においてもワクチン
接種が始まり、少し希望の光が見えきたように思えます。
うまく終息に向かうようにと願うばかりです。

4月から皆さんはそれぞれの道に分かれて歩んでいき
ます。時には困難なこともあると思います。厳冬であっても
風には息があり、必ず足は伸びて春
が訪れます。しんどい時には身を屈め
てやり過したり、休息をとることも
必要です。どうぞ身体を大切に飲んで
いつて下さい。卒業、本当におめでとう
ございます



知の森の

そして彼へ

五組副担 地学担当

何より卒業おめでとう。コロナ禍の苦難にも砕け散り
果てることなく、よくぞ踏ん張ったと思う。踏ん張り切
れなかった人は、もう一年、捲土重来を期して頑張り。人
生は長丁場や、定年がなくなるやもしれん君らの老後を
考えると、一年位何でも無い、黒木先生の前号の金言を待
つ迄もなく、力を出し切って終わる事が肝腎。そして、納
得得心のいく進路を選ぶべき。一生の事やからね。

さて、此の二月は小論国語の過去問を解いて、随分勉強
になった。市大は問題で芸術文芸芸能に関するもの
で政治戦争人権民主主義等に関するものを出す。そ
れが結構歯応えがある。「いい大人になる要件を提示し
受験生を試しているかの如くや。卓見やね。横浜市大は一貫
して日経の記事からの出題、しかも現在の経済金融政策を

分析批判するものばかりでレベルが高い。記事の選択も秀
逸神戸市外大もタイクツリズムを取り上げていて、刮目
した。やはり、入試の文章の質は高い。とここで、君たちは
朝読を3年間やって来たね。毎朝十分間、何を読んで来
た？ 自分の進路に関わる知の質を上げられたかい？ これ
からが勝負本は「知の森」の入口。無限の知的情報
が詰まっている。勉強仕事で求められる知も、愉しめる知で
も、その醍醐味(れば生きにいいな)を早く知ってほ
しい。人間として生を享けた最大の喜びと言える。

テレビもいいよ。サイエンス・ゼロ「ガリレオ」報道1930
「教えてニュースライブ正義の味方」「サンデーモーニング」
「ライムニュース」「深層」「激論クロスファイア」「報道特集」
「日曜スクープ」……本より手頃やが、選べば間違いなく
「知の森」の入口やね。そこから奥へ進んでいってほしい。

はて、副題の「そして彼方へ」やが、そ
の彼方何がある？ それはホソノノに
出逢えるつちゆつこと。本物ですよ、本
物最近出逢った本物はイェルメクテン。
寄生虫駆除薬がコロナに効く！ 開発者
大村博士は本物中の本物。何十億の命
を寄生虫から救い、コロナでも又。しか
も自身この薬のメカニズムとして効く確証 確信があると。
厚労省よ、早く認可を。そして、彼方にあるもう一つは、
知の森。知つた現地を訪れる事。現地の説得力は半端やない。
行って初めて分かる、感じる事が山ほど。本やテレビは
所詮間接情報、やはり現地に足を運ばねば。英のストーン
ヘンジの巨石円柱を見て御覧、プレリアリクでもランズド
リーガでも、サツカ場、見て御覧、ドレステンやウィーンのお
ペラ座、実際にオペラを聴いて、覧なさい。君らの先輩、大
学一年の夏、欧州各地を巡り、稀有な経験をしたり。大学
休学して世界一周、本にしたのも、今ANA。建築家志望
が世界の建築を巡る旅で、偶然だの彼と遭遇したとか。コ
ロナが果したら君らも是非世界へ。旅は目を開かせ人を
変えてもくれる。旅の途次で本物に出逢いたいね。五組担任



編集後記 66期から始めた古川学年通信もいよいよ最終刊 7月1号のペ
ィスゆえ、2年、18号、69、73と3巡目で、計50号 思えば早くも来たも
んた、多少の愛護、それあれ、型一貫、我々の思いを伝える、生徒達にも保
護者視線にも伝わったんですよ、今日の、ルも如何でしたか、我々の前
の語は数字が効いたんですよ、生懸命が取り柄、この通信も、記事に熱
がこめ、編集のし甲斐も、書き手の個性、深みも、O.T師の記事は時に応
じて話題豊富、読書家M師は最後に読書家の推薦を、K師は母の車みか、
その至高の姿が、師の文章、優しさの極、F師、あの人物が文そのものに、
その演義にも、さ、初心者がよくぞ9年も続いたもの。教員生活最後
に掛け替えない経験、それも、これも、思を伝える、一心と健気な生徒達、父
「母の愛」忘れがたくも続かなかったんですよ、深謝のみ！ (小休止)